

ファインテラス F型 側面台形納まり 組立施工マニュアル

販売店、工事店様へのお願い

・テラス本体の組み立て施工マニュアルも合わせてお読みください。

注意

- ・側枠は、1サイズ大きい横材を拾い出して下さい。
- ・連棟は出来ません

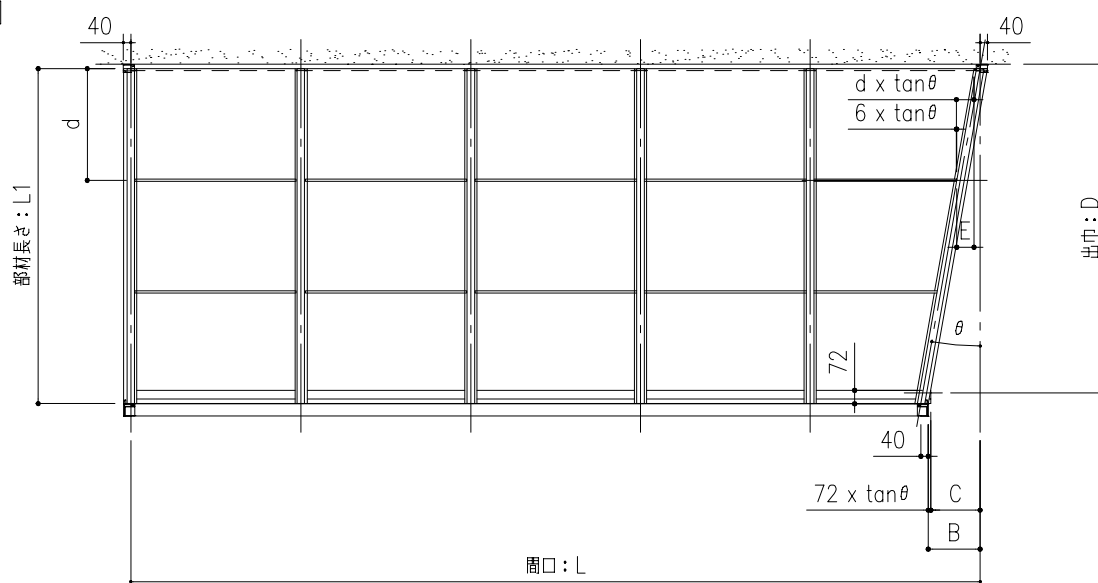
梱包明細書

製品名称	製品記号	梱包明細
テラスビス	■ YBBOX8	セルフドリリングネジ M4×13 (40)
孔ふさぎツール	□ 8NM73	φ15 孔ふさぎツール (20)

*上記■には色記号が入ります。(S:セピアブラック、H:ホワイト、F:ファイングレー、T:CBブラウン、8:CBステン)

*上記□には色記号が入ります。(S:セピアブラック、H:ホワイト、F:ファイングレー、R:CBブラウン、E:CBステン)

屋根伏図



最大調整角度 θ							
	3 尺	4 尺	5 尺	6 尺	7 尺	8 尺	9 尺
一般タイプ	20°	20°	20°	10°	10°	10°	10°
大型タイプ	20°	20°	20°	10°	10°	10°	10°
積雪タイプ	5°						

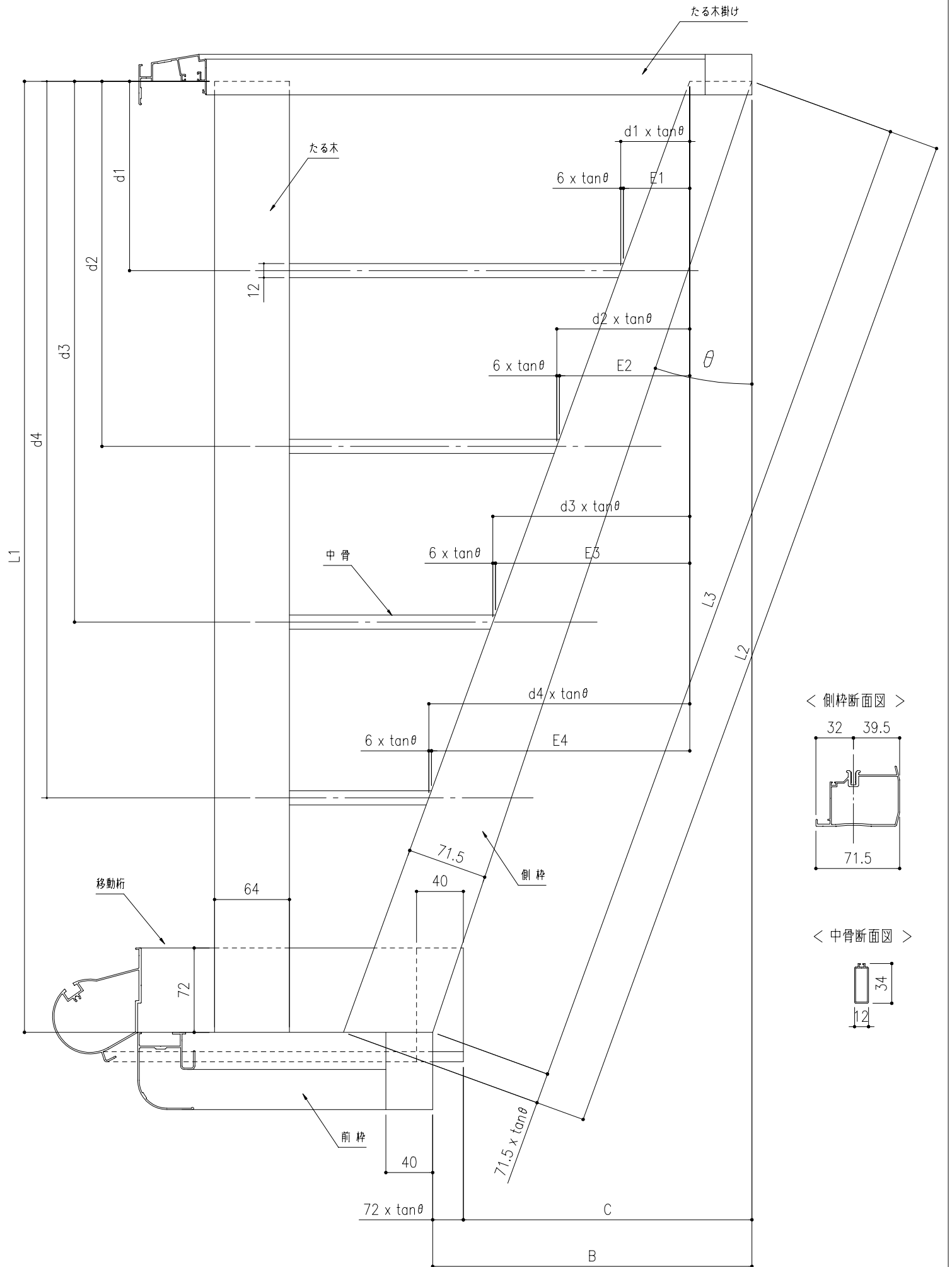
注意

◎ 最大調整角度を超えますと、たる木に側枠が当たり施工できなくなります。

◆ パネル寸法表 ◆

出巾		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺	7 尺	8 尺	9 尺	10 尺
		関東周	パネル: H	930	1235	1539	1844	2148	2453
	パネル: W	895							
	板厚: t	2							
関西周	パネル: H	930	1235	1539	1844	2148	2453	2758	3062
	パネル: W	995							
	板厚: t	2							

■公式表示図（側面台形）



加工図（側面台形）

三角関数表

θ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
$\sin\theta$	0.0175	0.0349	0.0524	0.0697	0.0872	0.1045	0.1219	0.1391	0.1565	0.1736
$\cos\theta$	0.9998	0.9994	0.9986	0.9976	0.9962	0.9945	0.9925	0.9903	0.9877	0.9848
$\tan\theta$	0.0175	0.0349	0.0524	0.0699	0.0875	0.1051	0.1228	0.1405	0.1584	0.1763

θ	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
$\sin\theta$	0.1908	0.2079	0.225	0.2419	0.2588	0.2757	0.2924	0.3091	0.3256	0.3421
$\cos\theta$	0.9816	0.9782	0.9744	0.9703	0.9659	0.9612	0.9563	0.951	0.9455	0.9397
$\tan\theta$	0.1944	0.2125	0.2309	0.2493	0.2679	0.2868	0.3057	0.325	0.3443	0.364

加工公式・計算例（側面台形）

関東間 2.0 間 x 6 尺 外観右側面台形納まりの場合

側枠の長さ（移動させる側）

$$L2 = (L1 / \cos\theta) + 71.5 \times \tan\theta$$

$$L2 = (1799 \div \cos 10^\circ (0.9848)) + 71.5 \times \tan 10^\circ (0.1763) = \underline{1839.5}$$

前枠切詰め寸法

$$B = L1 \times \tan\theta$$

$$B = 1799 \times \tan 10^\circ (0.1763) = \underline{317}$$

移動桁（補強桁）切詰め寸法

$$C = B - (72 \times \tan\theta)$$

$$C = 317 - (72 \times \tan 10^\circ (0.1763)) = \underline{304}$$

中骨切詰め寸法（躯体側から順に）

$$E1 = d1 \times \tan\theta - 6 \times \tan\theta$$

$$E2 = d2 \times \tan\theta - 6 \times \tan\theta$$

$$E3 = d3 \times \tan\theta - 6 \times \tan\theta$$

$$E4 = d4 \times \tan\theta - 6 \times \tan\theta$$

$$E1 = 599.5 \times \tan 10^\circ (0.1763) - 6 \times \tan 10^\circ (0.1763) = \underline{105}$$

$$E2 = 1199.5 \times \tan 10^\circ (0.1763) - 6 \times \tan 10^\circ (0.1763) = \underline{210}$$

9尺用	2713	456.5	1056.5	1651.5	2256.5
8尺用	2408.5	(604)	1204	1804	-
7尺用	2103.5	(451.5)	1051.5	1651.5	-
6尺用	1799	599.5	1199.5	-	-
5尺用	1494.5	(497)	997	-	-
4尺用	1190	595	-	-	-
3尺用	885	442.5	-	-	-
適用	L1	d1	d2	d3	d4

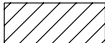
加工図（側面台形）

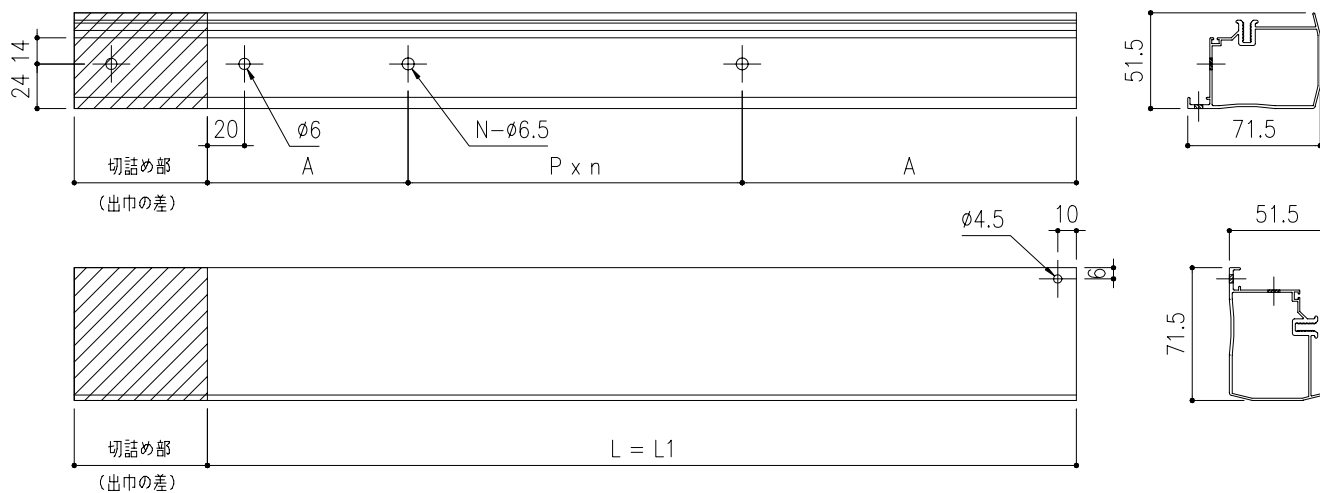
中骨



加工図（側面台形）

側 枠（移動させない側）

 は、切詰め部分



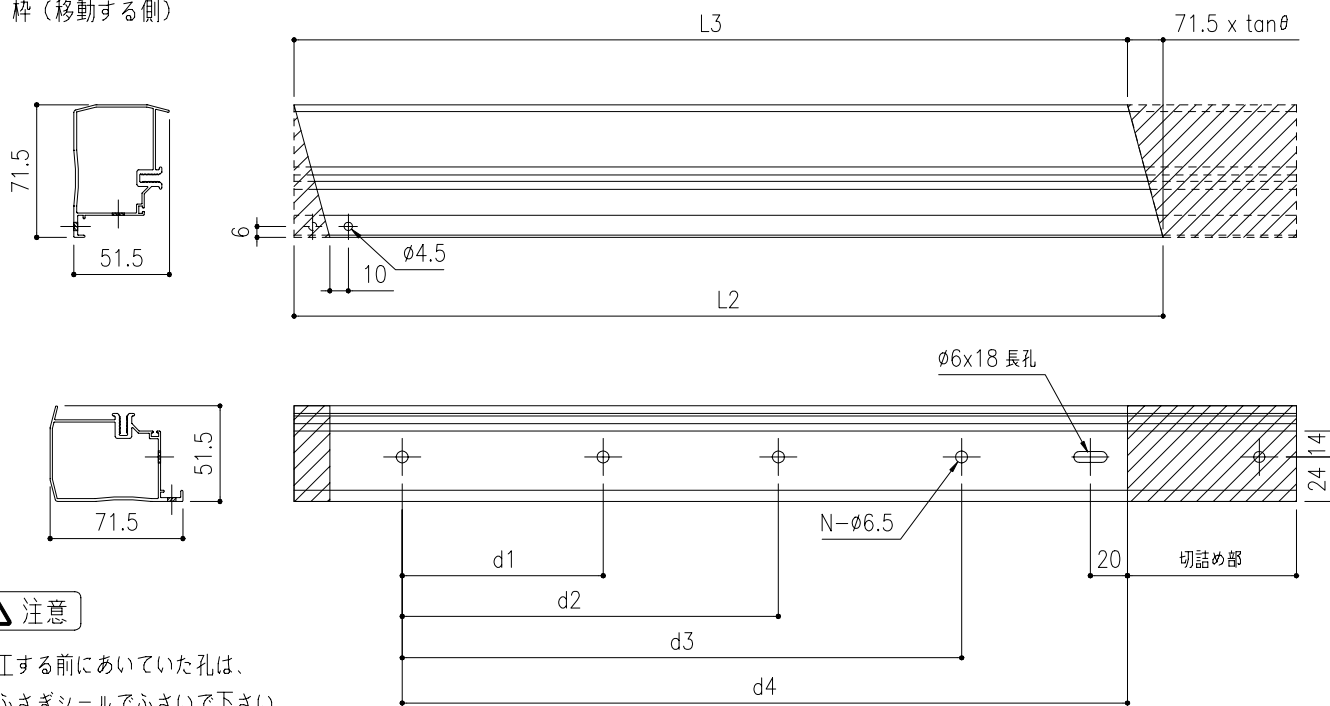
◆ 計算例 ◆

出巾 6 尺 の台形納まりをする際

切詰め部寸法 = 7 尺の側枠寸法 - 6 尺の側枠寸法
 = 2103.5 - 1799
 = 304.5

9尺用	2713	456.5	600	3	4	2665
8尺用	2408.5	(604)	600	2	3	2365
7尺用	2103.5	(451.5)	600	2	3	2065
6尺用	1799	599.5	600	1	2	1765
5尺用	1494.5	(497)	500	1	2	1465
4尺用	1190	595	-	-	1	1165
3尺用	885	442.5	-	-	1	865
適 用	L	A	P	n	N	W

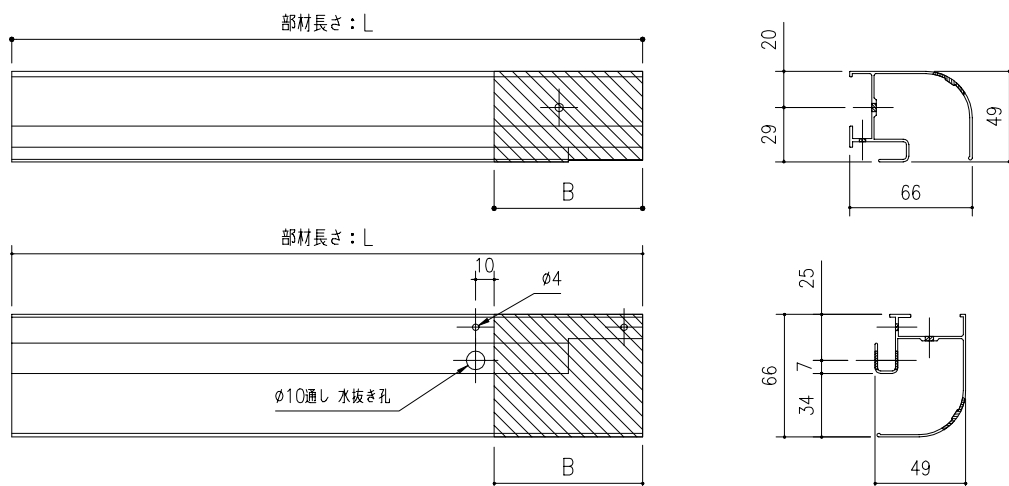
側 枠（移動する側）



 注意

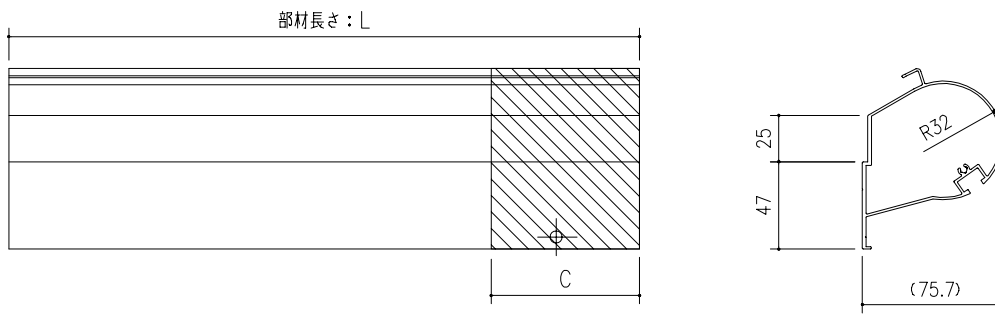
加工する前にあいていた孔は、
孔ふさがしシールでふさいで下さい。

前 枠

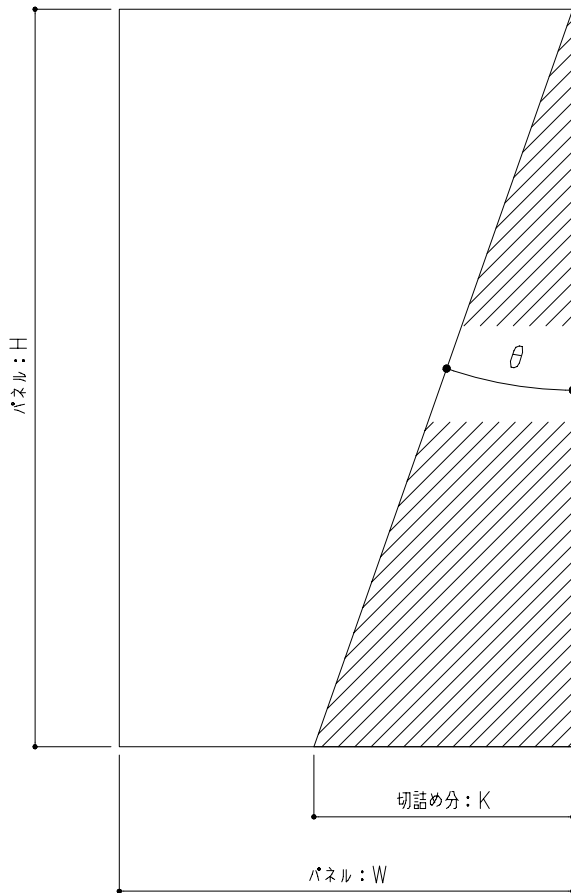


加工図（側面台形）

移動桁



屋根パネル



パネル切詰め分：K

$$K = \tan \theta \times \text{パネル} : H$$

関東間 2.0 間 x 6 尺 の場合

$$K = \tan 10^\circ (0.1763) \times 1844 \\ = \underline{\underline{325}}$$

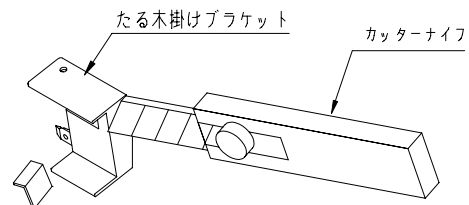
組立手順（側面台形）

① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けブラケットのフィンを、組み立てる前に切り落として下さい。

⚠ 注意

- ◎ カッターの刃をライター等で温めてから切り落とすと、比較的簡単に加工出来ます。
- ◎ 刃物・火の取扱いには、充分ご注意下さい。



※ この後、ファインテラス 組立施工マニュアルをご参照の上、施工して下さい。

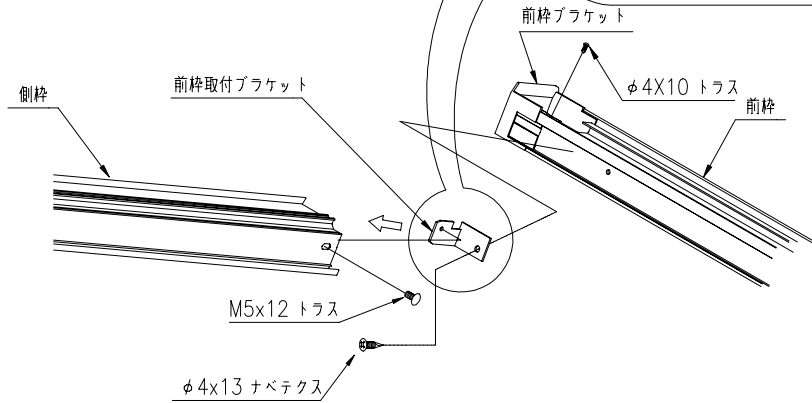
■加工図（側面台形）

② 前枠と側枠の取付

◎ たる木・側枠に、前枠取付ブラケットを
φ5X12トラスで固定して下さい。

◎ 前枠とたる木・側枠をφ4x13 ナベテクス
で固定して下さい。

◎ 前枠取付ブラケットを、巻中の分度器図をご参考に、
調整角度に合わせて曲げて下さい。



⚠ 注意

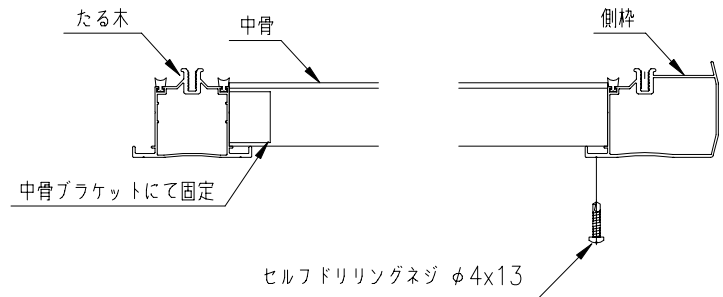
前桁、及び 側枠の組立に使用しない孔加工は、
孔ふさぎシールでふさいで下さい。

③ 中骨の取付

躯体側の中骨を、
セルフドリリングネジ φ4x13で
取付けてください。

⚠ 注意

◎ セルフドリリングネジを締め付ける場合、
最後は手廻しドライバーをご使用下さい。



■ 分度器

